がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第２５４号
平成２８年１月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

新年に願う

末崎地区公民館長　新沼　眞作

新年明けましておめでとうございます。

平成27年の世相を一字で表す漢字は「安」であった。国内では安全保障関連法案の審議過程に国民の関心が高まったことや世界ではテロが頻発し人々を不安にさせたことなどが理由という。平成28年は、同じ「安」でも復興が進み安全で安心して暮らせる「安」であってほしいと願うばかりである。

また、平成27年は政府が東日本大震災の復興方針を大きく転換した年でもある。これまで全額国費で行ってきた復興事業を見直し、平成28年度から一部地方負担を求めた。災害公営住宅の建設や心のケアといった復興の基幹部分については全額国費とし、地域振興に係る道路整備等は一部地方負担を求めるという内容で被災地の現状を本当に把握しているかと疑問をもたざるを得ないものであった。

末崎町としては東日本大震災の経験から津波の被害を受けない高台を通る道路がなんとしても必要である。災害時救援物資を運ぶ道路、救急医療として命を守る道路、観光客を乗せて来る道路、通勤通学に利用する道路、地場産業を発展させる道路等多くの活用が期待される道路である。

県大船渡土木センターでは、町民から求められている道路を今、具体的に進めている。「船河原から平まで」、「末崎小学校前から碁石まで」の『まちづくり連携道路』と称される道路である。その道路工事については、時間的な差はあれ原則として着工まで次の手順により進めていくとのことである。

はじめに、①設計図にもとづいて、道路にかかる地権者へ個別に説明、②工事説明会、③用地測量、④境界立ち会い、⑤物件調査と土地の価格算定、⑥用地の価格等の説明会、⑦売買契約締結、⑧工事着工の順で進めるが移転をお願いする方々にはお気持ちに配慮しながら時間的に余裕をもって対応して参りたいとのことでした。

「船河原～平」の工事は３工区に分けて行い、それぞれ①～⑦までの手続きを済ませてから工事に着工する。その工事着工予定は、「船河原～峰岸」は平成29年１月、「内田～細浦」は同年２～３月、「中野～平」は同年10月頃とのことである。

「末崎小学校～碁石」の工事は３工区に分けて行う。「末崎小学校前の交差点」（ロータリー方式）についての説明会は２月上旬、工事着工は平成29年12月頃。「交差点～山根」の工事着工は平成29年２月の予定。終点の碁石のところは、売買契約も済み、すぐ着工できるところもあるので、すぐ着工したいとのことでした。

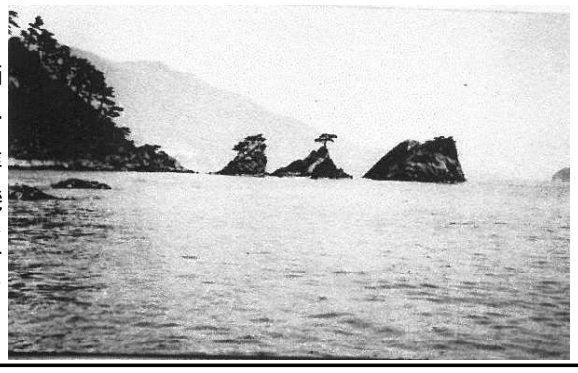
県大船渡水産振興センターが担当する『細浦港の桟橋、臨海道の整備』に係る工事については、前期工事、後期工事に分け、かつ桟橋と臨海道の整備は併行して行う。両方とも完成予定は平成29年３月である。湾口防潮堤（フラップゲート式）並びに陸の防潮堤工事については、本年の４月頃、工事のスケジュールを示せると担当者が話された。

それぞれ完成までにはかなりの時間を要するが安心して暮らせる町、地場産業も発展し活気溢れる住みよい町に変貌することを願うものであります。

末崎の風土散策　（４３）

～末崎の島と伝説について～　その６

以上多くの島の中から主な島の言い伝えを書いたが、他に「大作泣かせ」「キヨメ泣かせ」等は、１の「さんころばし」のように、しょい（採藻）は外洋に面した荒浜で、滑る岩に縋りヒジキ、フノリ、マツモ等の海藻を採るのであるが、それは日和の良い凪の日であり比較的干潮の大きい時に浅いところを渡るか、或いは小舟で島に渡り作業をしてしょいが終わった頃にまた舟で迎えにくる方法等で行うが、島に渡って作業が始まると夢中になり、やがて気が付いたら何時の間にか、潮立て（満潮）になり、島は潮に囲まれ陸に渡れなくなり、遂には島で一晩過ごした人や、島が低いため、波に掠われたり、呑まれたりしたことから、その人名が島の名として呼ばれている島や磯がある。また、獅子舞磯は３匹の獅子（ライオン）が並んで跳び舞っている様子に似ているので、獅子舞磯（岩）と名付けられたと考えられる。他に、面白い話では、鞍掛と云われている二つの岩島（内鞍掛島、外鞍掛島）がある。穴通磯と湾口防波堤の中間辺りの島で、鞍に纏わる話として、昔、泊里の或る若殿と赤崎（蛸の浦か）の姫君が恋仲となり、時折会うため、馬で海を渡り行き来していたという。馬は人を乗せ海を泳いで渡るため疲れるので、馬から濡れた鞍をはずし近い島には姫君の鞍、少し離れた島には若殿の鞍を掛けて乾かしていたという。そのことから近い島は内鞍掛島、離れた島を外鞍掛島と云うようになったという。また、別の話として、この島は馬の鞍に似ているから鞍掛と呼んでいると話す人もあっていずれが真かと云うよりは面白い話として語り継いでいるのもなかなか面白い。石料でかつて、長い間に、碁資にの思で年月が光助ると第一なあ次（聖）



獅子舞磯（岩）

☆なかよし親善ラージボール卓球大会

日　時　２月23日(火)
９時45分～12時

開会式　９時45分

会　場　ふるセン　体育室

大会規則

(1)ダブルス戦とする

(2)３セットマッチで行う

(3)予選ブロックの勝者による決勝ブロック戦で勝敗を決する

表　彰　３位まで表彰
全員に参加賞

参加料　無料

参加資格
末崎地域住民
（誰でも参加できます）

参加申込み
ふるセン（29―２９５５）
田　畑（29―２３２３）
試合当日までに申込み

☆「地域包括ケアのまちづくり」についての研修会

高齢化が進むこれからのまちづくりについての勉強会です。

どなたでも参加できます。

主　催　末崎町民生児童委員協議会

日　時　２月５日(金)
10時～11時

会　場　ふるさとセンター

講　師　上　関　優　氏
（共生まちづくりの会）

☆いやしの集い

期　日　１月23日(土)
２月13日(土)
２月27日(土)

時　間　13時～16時

会　場　ふるさとセンター

※裁縫道具をお持ちください。

☆「デジタル公民館まっさき」活動のご案内

◇気仙に学ぶ！
第４回まちおもいトーク
「住民参加で進めよう！
医療連携と地域包括ケアのまちづくり」（仮題）

講　師　滝田　有　氏
（滝田病院院長・気仙医師会長・一般社団法人未来かなえ機構代表理事）

日　時　２月13日(土)
13時30分～15時30分
開場13時

会　場　ふるさとセンター

◇パソコン・インターネットよろず相談

エクセルによる名簿や家計簿づくり、ワードによるチラシづくりや写真の取り込み、フェイスブックやメールのやりとりなど、やってみたいこと、覚えたいこと、お困りごとにスタッフがマンツーマンでお応えします。

日　時　２月13日(土)
18時30分～20時
２月14日(日)
９時～12時

会　場　ふるさとセンター

◇インターネットによる情報の発信のご案内

以下の情報をデジタル公民館のホームページに公開しました。ご覧ください。

「まっさき　まちおもいフォト　２０１５」
（11月７日　８日末崎町民文化祭
12月13日　ミニ門松づくり）

「郷土　末崎の歴史を学ぼう！」
（１月11日　居場所ハウス）

「高齢者ふれあいお茶っ子会」
（１月16日　小細浦地域公民館）